究に関しては各種的光機関

際元の他の科展研究機関におけ

研究機関における科學研究な 高速なる増展をはかる<br />
高、これが を研究力を最高度に集中強型とし

**傘下機關總動員**文相談

整備の必要あり、よってごれ

めなかんづく直接職力の確保に理例窓力を暴高度に集中を拒せ

要請たる全科學研究機関の綜合動

設話を建憲、科學取力地頭の緊急 東要綱決定に臨り岡部文相は左の

料墨力を動員し必死の反攻を企了

てゐるに関し、われにおいても敵

る研究に関しては関係方面と

密なる協力機能をとり、又直

技術研究機構の綜合的活動機制を 員の一般として文部省所管の科器

せるためには生産の増弱を励ると

に襲続研究の職を強化活用して 職争の遂行を唯一絶對の目標

科學研究會議を强化

科學研究の緊急

學での他科學研究機關の内容的

整備方策要領

栗、これを最高度に集中豪運せしめてその飛躍同上をはかり職力の 生態の増强をはかるとくもに科學研究の認力を取事遂行の一點に激 われにおいてもこれに引ち勝ら徹底的に数を風伏せしむるためにす

このらゆる科製力を取得して必死の反政を企圖しつくめるに對し、

爾來文部省では企業院その他の關係各廳との際密なる

研究機関を動戦しこれに既ずる

廿日午後三時海姫道上り公表された

が作職に勤し戦大なる家庭をなし、山木鳴き懸練引令是官よう楽ある。然か?他但会れたが、一の床と、聞くら右の種上間に産せられた動 るとこのに敷の猛烈なる集中変響を受けつつも対々強重なる敵情を重要し施長以上全員既と生命を突にしてその伝統を達成。

三 護部隊を建く大平洋上、沿いて毎見、その第一編を

米機動部隊を選早く独見、

である

ので数日に直り附近海面を規定

同版の連絡性絶するや領難は

呈 進 録 目 書 科 教 東年明 (スマン呈進モ歌用高報通)

たが遂にこれを發見するこ

これを報告して我が作職に答

陶器差別の報告で後傷、その後敵の指中変響を受けて程度以下統員群と運命を共にしなあらᆀ々敬信を獲害し、見くその任務 海軍、省公表(八月廿日十五時)昭和十七年四月十八日奉ニ護期部陳光郷するや本七東方洋心において強率くこれを連張

り成大を受験せられ、石の間

究の緊急整備方衆変謝」を附繼正式決定を見たので午後四時文章名

より大臣観とくもに左のことく登表された

「東京報告」 天皇陛下となる

一國系白

特設監視艇

別なる攻撃を書して動き落立に帰我し、その策後に引る区別知道の 之を撮近し、機を失えず敵機後見の報告を發すると共に動後敵の動

の任務に當つてゐたが昨年四月七

教情が悪に終始し洋上の一

六振 一当 八東 〇京

によって歴然としてゐる、報告は

もつて綴られた数々の報告館

御身したかは数の集中攻撃

職、小艇よく激浪に耐点つく暗響

歴第00丸は北方哨戒部隊と

画場くも上開に達した、

敵驅艦二隻を屠る

洪國祭日に御祝雷

日の陰離で決定した料理研究、天皇陛下に無勝仰付けられ同

のほどに恐怖威級左の題品を 幾の上に垂れさせ給ふ大御心

里上座下には軍國多派の原改

文語大豆藝話

下問を賜り決版下科學研究張

の緊急要無方策要調につき委・發表した

科學研究の

め、一致協力研究に新進選任さん 治いでは今こで霊國職力増頭のだ

めてこの成果を一分と破難し得 なる意義と努力は別下曖昧の要 いるが既に然えてある、この田

でいることによって

上空襲の第

土芸媛を担ふ敵不英書戒のため

東京無記】虎融脱々として我が

れが完備の上は無陰科學点の量での趣旨を得へ各研究機関の第二

いよく、確立さる、ごとを信じいよく、確立さる、ごとを信じたり必勝不勝の塵制が一般に厳し終大な対対極戦力を消失を対対を取り

力を置んででまぬ次第である 第ふに至るべく國民一致不職の旁 而してこれはやがて日本の科整水 地の同上となり國の基礎を永久に

修苦を極めた激闘

を行ふとともに引ついき別々職

九年度和

場教科書

第00元は直らに敵意見の報

果敢、最後まで敵情報告を繼續

散機および獣液艦艇の集中攻撃 の報告を發信したが、

受け午前七時遂にたの通信連接

附下さい 通報書を御業用 の向は

科科科科

動つに歪つたが、最後まで敵勢

昭和十八年三月十五日昭和十八年三月十五日

第一願義上はがつらり押へ敵公

巻行する秋なのである

行刊 店

續

和琴抄

を終しています。 は然りでは、 のでは、 のでも、 のでも、

第11二次

的の大消耗を意に介せず、酸素一年』といる管理な既に過去のもの世世ればならない、敵な人的物一年世界、第二人の場合

叩馬面世二次代房前係小指古首

取級に集幼に反攻する象米県

堂松

のる一定、書き青少年は今こで直面して

女性短歌讀本

B6 州美星四 □ ○ 頁 (仮二・三八

今 井 邦 子

名著

=

A州上黎四七八頁 順送・二〇

聯合艦隊司令長官

ħ.

た、これこでわが本上初空動を

科學技能の綜合的動員體制

の重要なる一環として取る

科學研究に大御心

**最し文相に種々御下問を賜る** 

東日 大震中部 会 明行登 日の定例閣職は午前十時より首相 日の定院を設てで前十時より首相(出)を最終、機能の膨胀を求めた。
定例間議(東京が表)でして東朝の最高版書版格数定の

開、阿部文相より「科原的別の **島郎に開會、東係首相以下各名館** 

のら天羽情報局際域より所管真真

ウエルが過酸新設合れた東龍田司 の書談で在重慶光空を司令ステル 令部指揮官に決定したと解へらる

マ島ムンダを中心にする日米の娘 中島

「リスポン十九日同盟」ケベツク スチルウエル決定

日本典上於一天皇陛下萬處上叫

叩き潰せ

敵必死の反攻

侮り難い米學 生兵士の闘志

はカダルカナル最反文は深極め

層で見ないほどの薬物合を加へて 地上配圏に於て敵米兵の反撃が、 心臓を類からしめてゐるが、この 力をつくじ戦上塵部家を進光して

一戦闘は日日熾烈の度を別へ、

んで死んで行くやうに、ムンダ職

して第一蹶を志願してくる。その

ある、ひだすらに着い米寒生がハ ソカの人的資源はまたり

種が敵兵力の手術を載い言肉の取締に駆ってゐるのでゐる、これは だと見限つてはならない、敵ア 三は日本の歴徒にも行っず、 腕が激増してゐるがアスリカの學 度に充らて名き裏他の大小への点 うに自ら志願して南太平部第

の域起が今にた要認られるので

に敢けるな、そしてニューデ と、クロモン と 購入な 南太本

京東

富族经濟院商長、狀野益三郎著 **泰兵學校數官** 

國民防諜で其の指導 166別上公二七〇頁 横三・三〇 西 灣 幹 薯

侧價格統制法 本点は が影下戦力を集の の見処に次いて見替的に耐し の見処に次いて見替的に耐し し且つ防護法規を時間に耐し しまつ防護法規を時間に耐し で常識的の友育種は略物強 変として観気の変数。 本書に辺時殿手經濟下重大な
る便物價が繁元法明的長項た
関係領医策と開発を
関係等級制令を中心として
表して
の場合のである。

物 の 語 述 たるものである。 る感謝の書。「単単化な平易に要味深く」 のいた人である。 本本でる大義の心を持 送價B -6 -六 -(〇判 MB -6 

菱 (現下必譲の書) . 6

陸軍 著下 企 聖本世 斯 中 俊 维 著 世 本 出版文化協會 推薦(8 歌 常 朝 田 回 州 大日本工業學會出版部

**帝國帝重新宗部家は部署男敢なる宗教信察に基主要次出到し向島への兵力揚陸衛治に思ってる教を** 地點ピロア附近一帶の敵部隊を急襲し、必死に喰ひ下る敵戦闘機の

十八日晝間及び夜間またく一前後五回にわたり敵場院

【摩太不洋〇〇基地廿日同盟】八月七五日朝ソロモン郡島ベララベラ島方面に敵輸送出頭出頭以来

ベララベラ島連襲

が全部隊に通達され戦後のわが迅

同庭の贈らした警報は直らに我

わしつくあったが、

大型驅逐艦二隻擊破炎上、

敵戦闘機十一機のうち四機を撃墜した、

輕巡洋艦一隻、驅逐艦二隻に平近彈、

陸

本府辭令(十月日)

郡東京面長 盛田

として東航通走したのであつた

遠距離機を製造せしめ目らば倉

られたりと見るや急遽本上機器の 殿の炭膿により、その企園意見が

抵抗を撃碎しつ、これを爆撃して左の戦果を撃げた

春話童 五ノ三・巡橋本日・京東番 番一九九 九京 東春振

製料の 製造なのでは のは今でなり の出来る。現立 の出来る。現立 の出来る。現立 の出来る。現立 の出来る。現立 の出来る。現立 の出来る。現立 の出来る。現立 の出来る。現立 のには、できます。 のには、できまする。 のには、できます。 のには、 の 車神 神 杉 衛 衛 着推 標・富由常維著 大臣に電貯畜問答會 社秋

倉間 學者心養 紀多期 ◆西脇花言氏(京城府經濟

戦、兵員三二萬の大蔵果 以優性を組みず機の來る教反文 得るやうに世ねばなられ。それ 局を運搬し、原品の点や理長者 て思ふ存分に放必減戦を機器し してゐる。臺葉の精麗に加へる

良事業を変施して來てゐるので、 良事業の派速機がに重點を置いて で既成魔地の欧真による増産運行來た農地造成が限乃弘に達したの へ特化をうつのできるが、明鮮は 町ら 今回の第二次 方衆は、内地 の頭化機元を行ふものと見られる あるものの、朝鮮では既に上地政 は、内地では土地改良による 次に変作の機服改良について となってゐる

町步、新七十萬町歩江比較的答 によって悪作可能なるもの十五

あるあつゆる初を力を想を示動一前で来てゐるので、既正方針に從 最初から、地区と基地とする種

な。國民意用令の牧正(七月廿

社の社長等を織用し」と社長機

規定して居り、これにより批異

工量が微用工量として一座下

事業一家精神の周結の下勝致く

一重態熱を確立したことは最も

反攻を開始してより八月十五日

六月來泉がレンドバ語に上陸

『憲決定中に 於いて 『株』

第一を取行した。一月廿日の生

漢所の職業紹介其他募集の方式

工最高東三衛用令實令憲法を開

布等競窩匠具徴用に関する過

國家總動員法第四條の『國家

羆の根本は人にある。しから する理論は深されない。共産 神は生んず、從つて國家の 吹かして安全価がに受りかへつ

ねが欲しければ動けると貼る

長その人にあることは後多 極するところ陣頭指揮者とる社

節して護動員業務に従事せし

を進めて來たものである。

政府は十九日首相官舎に管理

說社

耐長徴用ご國民皆働

種なばかりでなく、繁集などと

勝実ならしめるものであるとな

國民の敵用の根據法である

るのであり、社長後用の意味を

の全費任を負荷せられたるもの なるの自身に液し率先重和、 説電第三條により「生産遂行 の厳相を選化しつつめるは申すま

現在の戦局が日曜しに科恩職だる

岡部文相談

砂瓶することが最終である ともに科展研究の部力を提高度に

最力増展の目的が達せられるので

ある。而してこの科製研究の中後

南太平洋空の酸り我が高射砲隊勇士(闘闘闘闘戦)=電楽ー

**復権応營の抵抗の制内施行につい。成、汲揚波喇の石質等原数等限を、職化、建憲支衛者は連喫の開新元子七日の結論に決定した第二次義。と提め合せ、虚防蓄揚げ、撤遣遣、権重の領保等及、追認必等制員の** 

食糧増産案の決定近し

◆中间高州氏(朝鮮興業愈加常路

立(水原)道金河

取締役)新氏挨拶のため廿日本

既定計畫擴充强化

ては国下監状師に終て部意教制者・實施する方針で、今選中に各道よ「實際、第二次結婚返請の各族の各族の

◆安鄉本民(后次館一京城中古美

かつきしで断風

りの資料を取締め、原案作成の上

進め原案作成中であるが、これが

中政務總監は記書加と爾見い変

でし、全図各地方の徽用頻整者

る方で民間微用変施工場社長

一蔵用宅裏を変付し、豚々紅長

配分を行ひ、極力裏作の擴大につ

新(錢拾四價)

及び購入手続き及び地方飲物職

日海、八日城部、州

開催、支部よりな問題問本間長

便年金とした部であ 保めである

**続側比給統川事務行合理は、** 

聖慮に應へ奉らむ

青果價格改訂

戦局の現政階に盛して日夜

高島総規権原銀次の氏な同

10公表に留りマライが政能部は

調印、を終すしたが、念約 協成なりがに規範各方面の威廉 が開かした対応規範各方面の威廉

比三引縮き古日午前十時宮 【東京新記】 異合思智によ 中に愛内「日本の商業と能

日泰の提携共助更に進展せん

皇國の眞意を闡明

邦人 などの紛鳴師身の秀力と原生医の復徳的協力とにより、軍政は還く解版の地にも總 進されを「繰して大原虚の一長と として選しと蘇邦日大原虚の「長と として選しと新年したのである として選しく新年したのである。 |楽園編入は軍政施行に協力して來 | 新マライ雄設に願いて來た明和人 【昭南廿日同盟】マライ北部四州

は、財政資金を解放して、情報者 の無道とか、総裁、連脳金の治理 しかし、特別の必要があるとき 封鎖資金の解放

か、事業の法記、譲渡、際休止又 企業整備令により、所有金属の回 出資、使用、移動の命令であると は法人の合併、解放の命令などは

れを管理するに必要を資金の学習

今次の企画版団な資産技術のは、五十七日英山・劉治が昭田人に近一に一種高へられるが。これな網が、

法の理権が終へてゐる、問題なこ

事場に関する設備や権利の協分

企業整備と資金の移動

城大教授 原

企業整備ごインフレ抑制

の動態質力に化しては、悪気インフの動態質力に化しては、悪気インフの変色が一時に移動し、これが浄

企業整備と戦力増強で

付する誤職金が終四機関、外に政際、千七百萬四、合計終五十億四

の既可を得て流動化の途が開かれ **會社解散とイン** 

題であるし、機能財政の分配版供 た電道が、個法の決定により領別するのでは、財政資金の認道も問 企業整備により事業を酸休止し

た、物質の減少に隠する単語的集 ものもあり、まえ企業整備によっ

今次の企業整備が山なる産業会 國民全般の協力

企一理化のためでなく、原道せる販局

イズイ・イズイ・イズイ・イズイ・イズイ

京大 高田亮平教授創製



の現技階に即應し、限られた現有

保育工場は九州地區において 操業、保海、廃止工場につい

そこで、資本金七十五馬國以上 けめることとなった。 「解いて、野助脳質力化の防止に労」おける企識の蜂神に関する無数の生産領

サワイ・ドンキャオ河浚県に

九日夜のラジオを通じて破壊した|

ず、中にはなほ継結官成を要する 内地ほど全国心には發展してをら ただ、明然では久しく段業心で 朝鮮でも内地に削騰して、成カ



固つて  $\mathscr{E}$ 防ぐ

赤沈の緩

盗汗

病難が 用

錠剤オリー 服

世の

効

た現地無官民にとって威閣深いも一にもまた新たな威波があらう、わ

朝鮮の整備問題

ることになってをり、政府はこれ 「朝鮮商品物資管理」がこれに協

亞鉛板企業整備

生産を地區別に集約

舞日

株式會社三大 釜山水產株式

東亞棉業株式~ 翳藤 天一ゴム工業社釜山工場 寶生 株式會社 兄 日滿商事會社釜山支店 所長要ム 農田 水礦 小澤弟 田工 П 1441 層 油 高商 新會 点業 廣會 會 杳 司社 -- 所 藏店 祉 **久吉會** 

ってゐるが、心等の炭斑はその大

石 N產. **農業** 立株 石式 信會 吉祉

らんとずる者の利用に優なも

年金は一時前、分割排、略時排 **皇帝张士被上宝士被下** 定期年金は十五歳以下とし無

三村起一 星野

では、一点 源作

| が徳元、 第年とも 法の紹和十一 静散感にてらし、 これらそ 登戦的 は地區的に際上價格制を採り既だ一入一 即ち往來歌響・連絡・震線の價格|著集高版監價格は左の通り(百斤 るため總督府では廿日附告示を以 調整影響・小登録者の最高吸塑図 の公定價格制に轉換し、生産者、

税した阿十九日發表した、統毛、

【東京電話】臨二省では十八日を

梳毛紡毛企業統合

役畜の飼料に金

大千枚の増加となってある | 五千数(1・改・御・開年間 | 田老への織物が配として人間一馬 | 田老への織物が配として人間一馬 | 田老への織物が配として人間一馬 | 大千枚の増加となってある | 日本の | 大千枚の増加となってある | 日本の | 日本の | 大千枚の増加となってある。

問題は木材の需給

小型鎔鑛爐建設案討議

これが確保し、に許せ上、名の建設に一次既は許護より権態延してある。

の人大権順調で年内に七〇%程度

鐵鋼統制會

のが正しいのであるが、の便局 原年金は本來年金保険といふ

**吃取人の死亡に至るまで** 

と同じであるが支援開始年

被等中解地方も結立を開始し漸く 半層の夏秋路は砂に西北島一階に

の掃立増加

州を進めてをり、また層類状出に が中心となって統合魔を活成し撃が中心となって統合魔を活成し撃

·八七◆秦朝(風倉墓) 芝・

盖

獨往する鰯漁業

ゴム工業企業整備

常在戰場

近く統制會社を設立

「回の整備は第二次に皆るわけで いても昨年度第一次供出を行ひ

の實効滲透

統制會此調査による全解の補立校

上茨策総席中の山崎遅相に代り石

俗化さんとしつへあるが、鍵系

(七月廿日現在)は四十八萬四

に関し「原派業の重要性に陥み、

不振なので、築著戦から一元的統したが、現在のところ昨年同様の

**歴明徳については、年間に放ても 棚の眺眺が指摘されるが、主因は超五大重點重響の一たる石炭の増 機械化不徹底、惣郷上の公田楽器** 

各炭坑が耐水老衰期に到達しつつ

島における有盤灰色社は約卅社を

あるものとみられる、動ち現在学

就被の二百古四統と

漁業を昨年より五十

部分が小規模であるのみでなく

園に上る病解滅の一

んであるのもあるではないか。つてあるやうに見せて質は縫ひ

リフトので、宋池田山の順戦の「総合協療は銀銭的映画を流げる」

ならしめたのである。今日薬図「けても産業の職員に民二の技会に 中に観せられる原住民は後来わ | 郵身の努力を照正して來を納忌電が止敗下にあつたと同様新生東 | な

の感慨は一人深いものがある、以

を強した、今回の整備においてはらびに関係地方長官あて吹官道様

領土編入調印軍政監部當局談

泰佛印間協定成立 園閣】秦國政府 | につき交が中であったが、このは とガスーアン脏薬ブランス代理ないのかが変に 成案を得たので十八日午前十時間

**値との間に署名側印を行った上十** 

三州長官、感想を語る のがあるとくもに農地に協力して

いシイエム・リアツブ河航進に いシイエム・リアツブ河航進に

「東京部島」観工語では十九日時 三十日本でこすること ・ 田舎総林工館組合取合食理事長法 「一、 | 曹重 本英麗賀派により生す ・ 会院上場冊で観見選生金順また ・ 会院上場冊で観見選生金順また ・ 本英麗賀派により生す ・ 本英麗賀派により生す

を附してあるのは節時終身年 もので保護期間(年金支練児

生谷中に限り年金を支援から

去する質問時総身年金は四十

約(定期を除く)廿四、

【金北衛語】金北道では道内部 全北製紙設立

州の二種であるが分割構には

を辨込み必後の生活安定を聞 輸は近十歳、五十五歳の とは

野子に語る父心記、久保田万太郎・母ューを大空十二時軍中南原文裁 國土は如何に狙はれてゐるか!陸軍少佐杉本和朗 自給自足の野菜作り(西清嫩)・決戰臺所工夫帖

年品流派の主座を占 ものに編集するが、 蓄局を頼りにめる筋液は十七年度 する何さは休願した方が宜い』 このに対してがない。 日本 という 日本 という 日本 という はいい こうじょう しゅうしょう しゅうしゅう 第八五十二四を古 無密形では十八年度 上して回游状況調査 そろい 方本年の解 出すと言明したので質局に對して 新坑開發が急務

朝鮮有煙炭の増産案 ねて本府管局へ、昭可申請中のと 五千萬圓發行殖銀ち號債券 信題のち続朝鮮殖産 産債 元音金に 元皆するため

**大京** 

> 座 談 會 神國の清。血・秋山謙藏 特輯 必勝食生活

勝ちぬく誓…人橋八郎

必勝食生活確立 | 東浦庄 必勝食生活確立に期間の関係と決戦臺所・河倉夏成・芦澤子代配給と決戦臺所・河倉夏成・芦澤子代

された、殷陽の娘時官を派受した

類山德太郎 (長野縣) 経 勝田 秀範 (香川縣)

く銃後に送るが何れも単純せるわが航空部隊。れてはならない

その

の月〇日、丁上、櫻はこの日〇〇時〇〇方面を飛ん、南影を見なかつたが散濁水版の書で明報権の明成。であた。〇〇及び〇〇瞬方面とも、動が高級化して死た原之げに蘇跋し

一時五分同校で出版版類細に場合

が暗戒機の運す緻密小監整沈の報を發展となの跳底なし得る像ではない、この決戦とこの

く聞き級の援助決して能るるに足らずとの信地上猛派に加へて進記と乗しなく繋がつてる けである。配着は南海のOO基地にあってわので米英の如き機械や計畫に頼ってゐる絵画

方に敵首部が無害く無中にするて

第しました、**機能**終了後五十メー

現が兼え沸った。航下角度〇〇度

トルの低空で現上空を旋回し撃沈

ほど前方に落下し整備の後部に喧しらと殺氣が湧き上り一般必殺の間

ちに潜突して行く、追ふ航路の前 けた巨脈の背のヤラな甲板上に波

を確らせながら敬敬は見るくう

酸は十六種甲で浮上航行してゐた

のですが無罪は航路の三人

った『畜生質めてゐるな』むらむ 搭乗員たちは非常な窓 尹上航行してゐる無謀さに

たまつたものではない、

鮮威盟主催で廿六日から四日間は

道関係者の興錬成會は國民総力の決職報道師の第一級に起つ全解起

外金剛で開く

通りである(申込順)

飛曹は直ちに

高度をグ

**際政策に壁襲され街らに重派を増してゐるだ。你裁師審護漢によってのみ初めて得られるも機を臨船館、屬家職などの張り得らず録館の「歩もう類特のものである。和に不眠の精神力** 

明皇王殿下の古陶を印言廿日

【大竹電古】海印潛水艦風校卒業

り御護道の久邇宮

潜水艦學校卒業式

動となるやう御助力願ひまする

盟) 南太平洋方面におけるわが輸送路を滅亡 せんとする 胸海水艦のゲリラ 敞錐動は依然と

「南太平洋OC基地嶺地南海軍報道銀道發用 の濃い玻璃を物語る好間の痛酷である、この

技術と数は決議を織げながらもその取場です

職を割いて<br />
猛訓練を<br />
里ねてある<br />
我が海棠の<br />
血

の目に映じた、雲間から不識に現 政学上潜水盤の姿が突然工上飛馬 た時である、右四十五度、距離〇

水中が駅々と 盛上りり

てゐた、それにしても異識面しか

もわが基地にこんなに近い洋上を

たことを変域がりながらの飛動長

禊鍊成 報道戦士の

基地へ瞬島の直後喧戯出來なかつ 恰度その瞬間に作製し 向ひ十二海里位の速力で悠々走つ

機の前方左三十度附近をこちらに このキロの洋上であつたが、わが 見敵必殺

敵潜忽ち血祭り

して響けられつゝあるが、それとて我が順戒

の出るやうな努力の場であり、我が荒芜のみ

側後遷下すって、これが全路の連 が御機としてもそのために私共を れる向きが多いと思います。とう 点法を選べばいくかと考へてゆら

我が鐵壁の哨戒陣

哨戒に営つてゐたが進路に横たは

**単独下担税に手をかけて今か今「亡轍"とき戦へて鯸驢戦策を邸った↑トルの紙送から猛然これに挑みかかと命令を待ち構へてゐる、射 ∵…………… ) ))・・・・かつき** 

そのニ

0月0日

操能の時形線が敵手上潜水磁を

き中央戦団高、中央戦信局、中央「角城したと答案・同五時初巡眈を移り、引鑑」更に営中に

更に富平に到り仁川造兵級を脱祭 産業成士達を放助、午後一時過ぎ

を できる。 一大の強力なる施策を行ひ、半路 関い元曜を切してあるが、総督 所でも一関有事の秋に加へて、 でも一関有事の秋に加へて、 をでも一関有事の秋に加へて、

の訓練を加し越信事業に連進する

る種葉を右に避けてその前方に出

を一巡し賀麗室に全位羽員を集め
ち各戦長、保長を引見、終って顧内

·長局 石白

視巡初

城地方巡信品を初 し廿日午後一時京 本風務器夏安縣同

巡視した、富岡地

人もお願いを言葉で並へるこうで

機関した同胞が記念版金をずるの 既を喜んであたが、その質施

に敵兵側度質がされる窓に二千



錬成を生活に顯せ

地方遞信職員に飛檄

務の寸限を思いて板垣垣司令官は

特に狙つてゐる、しかもそれは場

【仁川電站】 決限下多事多端な事

板垣軍司令官

助を続ける、侵近米機のローマ百 用よりその距離を縮小させては露 する安東主泛介、小森勝太郎兩氏 府內旭町二丁目東部第一町會に通 内地同胞が贈るお祝ひの献金

我々としても願いるところがなければならな

いっと形内地町一丁目東部第一町西が祀ら上 非常によろこんであるが~半島問題の熟粒に に於てもこの違い心の難ったものを受取って 紀の似びを記念するため収金をなし極力戦闘

が、早くもこの噂を聞き解へた船山方面を始 金々を全層的のものとするの運動を超さらと

かくと全触の内地人に呼びかけるとになった

の何とかお祝ひの徴意を表はさらではない

預都東水南町蔵北側紅脅紅では、

を徹兵制牧権的歌として鍬成珠裳

【東京電話】政府は決版の深刻な

科學研究機關を整備

ビタミンの新寵兒 B

五千圓献金 徴兵記念に

瞬れの徹兵制度施に感激して年配皇民が、世

ぞ内

體

らせられ、この第二十日大日 本婦人會から破表された、明 名をもつて左配御歌を下陽や に對する影解御歌物に探き思

てきずおびたるまずらたが

頭のためでとつきゆかなむ

ましたことは崩損率人会級の が第四地が1回の御沙汰を詳し ででは、10回が10回の御沙汰を詳し

下殿妃宫邇久東

とを無し効果感謝が人のうべいを名一向な場別が人の合べい。

た証例例下限の元気を記載し

深を訂独目で連備を進めて

傷痍勇士へ御歌を御下賜

らんことを期する次第であり 感でしめ思召の高ーに既へ奉

本止總裁謹話

山內日婦會長護話

概案を翻載中のところ二十日の定一要される

校庭に滿つ裂帛の氣合

元人日本 统颂道振興會 朝館聯合

少監関或は監場に踊っては今日返

御相談は

候日近火の際は早速御見郷と示し難有深趣謝 近火 御見 舞

すること人なり文部省を中心に真しれを決定した。右梁が深汕つこにての他科恩研究機関の離婚を整備しを提示組織時間做軍命論の入うこ

民職は我が星軍の概念へを開議で「殿で磁気にいるした、政は舎社に「突必数の戦い銃频が撃しての目」ある、この候就を載され入途に提

松々地で終了式を雖行、受職者三 間が過了して廿日午後六時から同 鉄筋製道路習動とは廿五日間の別

ら離状。毎節があつて、受職者代表ものひだい。との挑談、瀬中佐か

種路二丁目 (唐年会館階下)

謝

路人一路內

電話本局の一〇五二番 本町 京城市場高別四番町 代表音 佐 郷 屋 嘉 昭 円 田 組

振興密長(代理小阪儒育官)に對「習留終了式」

農繁期に萬全

食用車の栽培という。

液球化量和 第三六二三

謝近火御見舞

株式會社

日交部長(代理浦中佐)朝鮮旅香一唱、同七時別曾した「富貴=同識

除外、大日本統領道振興留朝

あつて高橋京師役長の疑路で木銃 待に張って既へますとの謝鮮が (京師図不恵次君)の《教育の規

命名選名に應

生蔵部画に攪はつてゐる幼兒をも一南方共愛園地域の人々を敵容させ

保育奉仕班の指 導者講習

分と

日本海汽船

和田鑿岩機京城支店 整 是 嚴

謝

近火御見頭 東東

藤洋

篤行

殿照期を削に、保管器仕頭の織成

から十七日までの五月間に買り買

日射頭縦本部では九月十三日

内地へは

謝

類

伊豆 实现 即是 舞

壽

堂

らんことを捌ける次

心を悪い給い今殿 人援機に存続き個 本婦人強聯及東久

整成に努力して思名の萬一に 被影響を指め場側に人の結婚 既へ奉らんことを明してゐる

洵に恐懼の至り

植田傷痍軍人會長謹話

軍援に厚き御

仁慈

かつて第一線において売し得数化を辿り海岬を鉄路せしめ

あ、もつて総数<br />
医校下の台域<br />
で大の結婚に対ける<br />
理解を<br />
深下の<br />
で大の<br />
に対ける<br />
理解を<br />
深下の<br />
に対ける<br />
理解を<br />
深下の<br />
に対ける<br />
理解を<br />
深下の<br />
に対ける<br />
理解を<br />
で

綜合的根本方策を終りつくめつた が、その道學なる一蹴として大學 め、強て科展技術の助質に関する

例循環議院上岡部文相よりその成 一、科學研究の緊急整備方演変異

を練らんとの然血を凝集して云る

に致いに対する動に等に甘五日間

連 大雄 大雄 大雄 大雄 大地 眼ギ出張

すの

「社を」ギュエルギー 教授により ピタミージで | ミンB - 大は一九三五年ドイツの 臓などに 脱密に含何される ビタ 開閉として登場した、一番、米線 (ミン Bー六はかくて 科風の新

|東京協語||ビタミン 科學 の機||ン B被全職としてその 存在を明| 質すると限宅で散なれてゐない四 明されず、白観をその映沙館で側については世界各國ともなんら風 党氏により組雕台成に成功してゐ か にされたばかりのまだ 耳新し 擱んだり正體 蕁麻疹なごに特効 六自艦の生理作用 ミンB・六碳乏能であるとを 関係の深い磷酸疹が人間のビ かにするとともに蛋白質に朗

めた、そして欧治困難をかこたれ 心日本科學が見事この金的を財止れず量界の命職となってゐたが戦 強の代謝物質のみはさらに従見さ

くべき進歩過程にあってなほ蛋白

現出せんどしてゐる 欧米英は歌あらばわが本上空襲の 敗取の限いせと反攻を心てく思る

地路地に足を延ばし回七時引揚げ

野鼠をいぶもなほ捨てず、北より

付を済まし、支部所在地から貿場日午前八時までに南場に釧路し受

国の政治、經洲、文化、風俗語各社 春戦衛に帰腹して撮影した戦刑方 第一次陸軍報出記は選がその要務

一面二本地台名テ以テ機秘ゼル第二回解散

(2) 大災の際には消防験、警察官、警防團、受工火災の際には消防験、警察官、警防團、受工火災の際には消防験、警察官、警防團、受工火災の際には消防験、警察官、警防團、受工火災の際には消防験、警察官、警防團、受工火災の際には消防験、警察官、警防團、受工火災の際には消防験、警察官、警防團、受工火災の際には消防験、警察官、警防團、受工人の際には消防験、警察官、警防團、受工人の際には消防験、警察官、等防團、受工人の場合を表現している。

置 源 不 生 産 出 資 組 合

點の制具で体に威削までは慣柄を

機の込んだ出重なる七拾除

の歴史にな場回など見ものである

文學者大會

めた殿山陣伏、灰服全権引見等

一名に限る、何受訪者は九月十三

新しきその第一成級から飛出した 示作品は大東山阪街が製造するや

質人 生 駒 春 介 監道製材生產出資組合

階化場で明侃することなった、展

空襲に備 等の任後に事故(三等) 単に裏

期的試みとして血液検査を行ふとをが、更に敵機体の場合にきたが、更に敵機体弱の場合にきたが、更に敵機体弱の場合に 全愛國班員の血液型を調査 石石石

館で開催の第二回大東龍安県著大

--組

ミシン部

分品賣出 (北質大いかけ)

工場・

大安商事様式會社大安商事様式會社大安商事様式會社

【下観電話】廿五日から大県脈窗

代表織々東上

より機能が対したといる、何んた

朝光 名、新

わが科恩防空間の鉄盛を終示しよ

うとしてゐる、なほこの血液型機

この血液型表示はまで防空後可以

から南方諸域に 沸らしたあの日 機関民の血を 行のとき現に存する動便貯金切 附十姓與回切手、东之古本令施 前に遭滅いた外側切手貯金台紙 間取扱いを際止した をもつて財理的位する

の開業が師、登単徒も歌起して皆意には先生皆局はもちろん、金鮮

ることくない概律所では一次で見

火れて、これを戦闘的金して朝 の例により貯金に育入すること 令施行の日より六ケ月間、従來 これは、呼吸切手などを強 弊を防ぐ一方、決関

種やせよ 物文は他が思かれた方 旧出する各地代表は日本文學

上する **員等職が出五名と下縄で落合の廿** 胸酒氏以下三名の台級からの代職 んを交へた一行十一名も廿日 天命日林氏等八名 上來明、九州 を受け十九日夜景調代表赤縁金 権図暦の原筒秀剛氏二行の出連 一日十一時十分競の総行で一路里 引が名とする紅一點の開露さ

にも開業しています。 代理店

北道南部製材生産出資組合

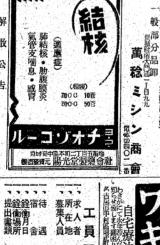
では、 のでは、 解電球販賣株式會中與第四子自己九番組

すこうした」の、うくごうした飲み方は、食後に生のまくウキスキーのほんとの味を生か いです。炭酸水で した飲み方 冷水でうすめ ~~暑体力 の接続を加り合資化酵素で買り の接続を加り合資化酵素で買り の接続を加り合資化酵素で買い の接続を加り合資化酵素で買い 桑養不及。 肋膜炎

味を生か

割ると、かんじるだけで飲むか





を治すには

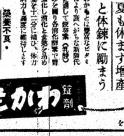
緊 村 の機械談を秘密に卸上ます ጳ

好い時期です

急募集

70年五〇名 17日本一年以上ノ経験ディス 17日本・17日本 | 17日本 | 年数三依り旧選アルモ高給ニテ慶四ス設 年八月三十日子後一時

夏も休まず増産 を参持倒航空



員を集め決職生活に対する登職後二時から肝委員働室に同時限

當局萬全期す

希状院がや人不関語な場でがある。することになった水を消暑的一関における様寸の配」かる弊家を一着し

かる野書を一舞し配給の画語を明

殊要、都市交通の正常化を綴ら ならぬ、西大門選保安保では

そんなことを粉へてあると彼は一『あ、さうか。則受けたとも』

長のとそろへ届けてくれんか。こ

の確立のためには断火平と

模範組合を設置、成果を學ぐ

勝つための 決戰生活

どであたくて胎器の成果を必げ、 この組合を位置として府内各組合

社では金融回収運動に策勝 運物に附着してゐた原柵を じて献納手織きを 調金面に入っ 取つた、同日中国

本町一ノ本坂屋本 では五十點を中国 雅西 義安 美食吐 鼠海水浴場で宿泊臨海無成を

所き勝つための生活切しか (に) 城重極報関隊永ら前中隊でに休 で極力打合せを行ふ 林,献納運動

衛所咨組合を決め形から運動金売 る府警賞及は資金収録の

(各川町公常堂に張内各町職職役 | 監役所では日一日午後|| 時から

西田参振ほか甘名邊席して定効開

衛兵制質版の膨胀感激を盛つて我 | と無ひ起つ青年育志の砒寅音は、 誓ふ盡忠報國の至誠 あす徴兵制實施威激青年大會

心、長筍、東洋乙光社後後のも 弔慰金殺到

校では全校生徒七百名が交代で去を練り競へようと京城女計陶器屋 普及徹底を願り優秀としての心身

高沿落宗具、朝鮮金母國 京城府では、第二回府書 にし正午敬酉した した、岡村財務局管理 警察座談會 東大門署主催

る日の光祭に胸を聞らせて使民催

前青年除中林町分除では西原分 としての薬地を練騰しよう 青年隊の强行軍名

聞配達採用

英工員優遇大 以工員優遇大

初と古城の浦縣船等時報時報

但村製藥或會社

治

朝 朝 後 で

以上町爾役員多數を招集、原川署 な古田で後七時から無路區域 東大門第三個《都市醫察座談類》 二山學俊郎堂に同地區の愛國班長 各幹部出席の下に開催した |各条主任から別職、防犯・妨 | 容敷なく臓鞘の方戦でのでんでぬ臓に次いで泉川湾長の脈ぶ | 起するととも比重図書に對しては 入門ロータリ、 糖原電車終點

しく 歩かうへの交通道義 心を映 ガホンで通行人に呼びかけて

適世界維新大道へ』 吉田光秀点 ある おでん屋ヶ紀文を附近から田火

> 分がこれから思めがけ 間子の気持を恋

長の部屋へ行くに便利な奥の階段

衛的の計可を要する 署然局では希望してゐる、な所今 詩吟劍舞大會 出火場所及び原因その他を目下本

そのなき彼は、例がて後へ身際

洋裁生徒募集

新してまた。ナガエ音音音 層

恋方

但に経験者は事味を思するの子所

村谷計理事務所

ラワック

京城日報

ロ本エユース

で問ノ丸会組への高級はないの

カメラの機能は温度

**菊田寫眞機店** 

器 箱術般

性病災

館畵映信和

**宛丸山洋裁學** 

常数九月生募

て同五時五十分ごろ頻火した。が

H

節後の上条の高揚に國際の結構詩 村岳原氏の無常北支の現地製問行 即之機に日本時的展院京城支部で れてゐるが詩時別郷の家配木 木村岳風氏迎へ

新本計理事務所

日

朝

巫

戴高品湯の / 語吟颜舞大き を開 守れると京城府社会課では廿一日 警察場画に町台と協力のもとの 午後七時半から季伸國民駆使庭で 防谷溝廣映畫會

衛達で半四級反置施品の不英羅属

節節の併東正忠氏、同じく朝鮮時

空職演院重像を開催する















和龍組	質語スたべてご確
日本ニュース	1









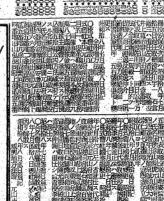


日本ユュース

喜

場劇花桃

公告 銀行 真《刘 回区













れてゐるが、宮城遙郷は徹底して しが肝変え、正午の默勝は動行る

地方では断健療派な生活の

心に訴べることにし今日のやつな 龙【**第18**—古市府野】

口頭取し強烈、不要の人口と 必要であり従って都市におけるを断行する。それから敵機來が から記る國と意見、宝づ身

物質の協能れを防止し、表職まで

配給が行きととくやう歌まで

差の決敗に活から口を切っ

決戦生活を說く古市京城府尹

選、多大の改選を暴けて同九時す 三言に於ける思ひ思ひの意見をか

すの活神中場臨首(大)朗彌の活神中場臨首(大)朗彌

1 218

夜等語

京日案内

タイピスト採用電量を開する

日香等等の特別の高いでは、一大家代表を開いている。日本のの時間のでは、日本のでは、日

座富

・・四回明治部宮城民鎌屯大盛変況中越

住宅買ひ度し

朝鮮米穀倉庫製料・大穀倉庫製料・大穀倉庫製

養(大)会唱★11・田〇(大)ピアノ類(大)会唱★11・田〇(大)ピアノ類(

先づ生活の建直

化に重點をおく のないやうだ、今後は遙洋の世

人五割となって個人の意感が一點 消化分が七割だったが今日から置 成果をあげて來た、大東亜戰國旗

生活の本様を動力

見もあつたが、結局これな愛國

無や野祭が出廻らないやうだが、

常在戦場の心構へ

ふっと國民職力京城府聯盟では

名が署庭に集合して汝英島まで産 行軍を置施、喧らに草川に取り動 八時治永中隊長以下全隊員百五十

一世帯に平均で八種づつ行き重

正しく歩かう

交通道德の昂揚に當局飛檄

工場、参礼など国権変任者五十名

600

勞務者募集 【四五二

料は無料、多数の死場を歓迎して 盛況が強想されてゐる、なほ人場

**初明ける友達もないし、波聞子も** 

題の内容元更せるものでその 完氏等の來演あり、<br />
際出演百

壁にふりかへってみると、電信

賣場出納係採用

本鮮ヤーススを

川地

二•〇〇(二・階席) 4

主催 京城日報社 京城日報社 京城府中區本町 三端 常内所 京城府中區本町 三端 常内所

(機器用小箱) 宛入衛してを

増殖に維身の類力を傾注して

燐寸の配給 を圓滑に

實費りと一部不心得害の東南に

大概生活はまづ日常身後の是正 | 刈を行ふこをになったが同日午前

京城府聯盟の實踐對策

が先頭に立つて係員を動員し要情

所·京城 府民

時・八月廿八日、廿九日(二日間)

夜七時開演

八月廿一日より 左の場所に 會員券前賣開始

が食べてゐたのが四杯になっただ

もかくもいいことであった。かう

整つたなむ)

武藏野音樂學校招聘大演奏會

は自教にらみ的の原題に身をこが

いったら、早速手紙を出して耐る

熱帶飛翔(四)

杯地下道の階段を下へ扱い

[38]

村上松次郎(編) 海野十三年

場劇陸大

(院)

亞大公演第

貸衣裳譜

JC18:00

医学博士 小澤良雄 電話東島©0524日が海 小澤內科 京城府新堂町二〇四

相義がならびに近上大使の答案で 疾収解治療的式におけるピプン賞

私は、無疑の出機小和水空車はわが補給諸民一者長ブロットに対しませんが

一機なわが命中がを治び日煙を引

【マカツツル竹日前壁】ソロモン

に攻撃を加へて來た、すなはら

文盲には罰金

数使に動する特殊取扱に關する法 非常時金融税制修正法案および回 論議をつづけて来た又盲撲滅法案

上の登録を認めず の一夫多妻に對し、

在押し、執効にわが前級基地

・ はなかつた | 一 創版トラブナで ・ 一 創版トラブナで

機に命中弾

古田同盟 日泰領工

畏し終始御熱心に御聽取

けふ重ねて藤原内閣顧問御進講

わが成力地感に深く観慮を落

自されたが、自日重ねて内閣 難問藤原銀次郎氏を出中に石

> 時表倒座所心出御、藤原銀大 北を一緒下にはこの日

> > 念にの折柄やが銃後面縁界の 氏の領重数を終始御繋心で御

たり同地に来渡したが、これで三

総取油のせられた。御政務御

だ」に置する間楽画を記さる

松平宫相、木户内形、白玄古

方においてケントンおよびモン第二條 日本國は泰國がシャン地

施せらるべし 第六條 本條約は署名の日より實

上はおいてまたもや不法なる敵機の爆撃および機銃捕射を受けた、

叉復、わが病院船盲爆

七分わが病院船「ぶえのすあいぬす」九は南太平洋

識された

なる細目は南當國官憲間に協議

の日における州境による定する地域の境界は本條約調印

親善に輝く一頁

の不法機能をもつて他の発展言語は本年的頭より連貫するお助に累計十二回におよび、殊に開始な去る四月廿五日南京 てゐるが卑怯にも標識をつけてでもず四個の繁戦を役下、さらに適度一千メートルより機能添慰を行った にも拘らす敵はこの非人道行為で敢てしたのである。際はコンフリデーラッ いくば日の景彩一瞬間でありしかも當時人氣晴朗視野極めて良好であり明かに病院船と

調印式の挨拶と答辭

に對する共同の戰爭を完遂し道 は兩國緊密に協力して米英兩國

大日本帝國政府及び泰王國政府

第三條日本國は本條約實施の

する地域において現にその行ふ

の領土に開する日本國泰國間條約 マライ及びシャン地方に於ける泰國

動の決意をもつて左の通り協定 義に基く大東亜を建設するの不

條 日本國は泰國がクランタ

不是是 今回日泰間公 「レンガヌ、ケランタン、

ついて、州上大庫の答案を行って購れの雇用式を無恵終了した

を影響する機の花の油食が飾られての前に暗れの裏印を行る脂が致けられ、定例素類官重要

泰の附属國

坪上大使およびピアン總理兼外務大臣事務管章はベンコックにおいて 條約に署名調印を了交渉を進められたるところ極めて 友好顕痛裡に安結を見、昭和十八年八月二十日午前八時四州およびシャン二州素國編入に關する 諒解に基金とぬが條約化につき日泰兩國當局間に要的教養省變表 (凡皇皇皇皇皇皇) さきに東條、ピツシ 兩總理會談の結果一致で見たるマライ

調印式無事終了 「パンコック甘戸南夏」北郷でライおよびシャン頭単方の富岡県市部に入

石條約案文の安結を見、从月廿日『バンコック』 において 特命全権大使坪上貞二とける『タイ』國の領土に關する日本國『タイ』國間條約締結方につき 交渉中なりしき

國內閣總理大臣兼外務太臣事務管導元帥とし・ピブン・ソンクラムとの間に右條約の署

即時効力を發生

けふ日泰間條約を締結

この意見の結果楽団多年の高 につき意見交換を行ったが、 べつこゝもに戦争完後の方金 送け日本関係全般を検討 委員會を設置。路被の場所を進め去る十二日の楽園港館においてこれが成案を附離決定した 上義する日本國『秦國』間集治が署名勝印含れ即時効力を是生した。かくて泰國の新領上無人なこと

澄たる領域機器につき完全な

奈良の発展現化といってでの新日協力決意の

西統領と會談英大使、近く 政府はマドリツド駐別英國大庫が 同盟
ロンドン疾電化よれば英國 部スペインのバンオ・デ・レイラ の別重にホルダナ外相、モロツコ

盟一反権戦軍の宣議によりイタリ 第二の部市ミラノは大学灰塚と

大局

採油機械も禁輸

米、對亞壓迫更に强化

により線集された北部アライ四

書を作りました。御希望の方は野寒につきなその資金關係に及ばす影響につきな 封入の上調査課宛御申込み下さい。

十解就中

今次企業整備力式の内容とこの輪節

企業 整備決戦體制下の

点

茶園 領上 張化 されるに至った り米國の対田部階級迫けさらに

盟邦日本と相協力して一路共泰國 | 両めつつある

テイン・モン大使、抱負を語る

「福泉市日泉南盟」宿舎館が坂市 で入京第一夜を明かした青木大泉 で入京第一夜を明かした青木大泉

青木大東亞相

としての地位を含らに一般と頭化

建設に選進すべき決成態勢を加々

開催上を機場し繋属な登録し

川島屋證券株式

表忠塔参拜

との歌演の近出席・午後二時か 【新京十九日同盟】 高橋三晋海軍 滿洲國首腦訪問 日緬一體の協力具現へ

開を訪れ原同一同に激

た巡回の英雄を慰め、 委出塔に事を頼り大陸戦級に取っ

殿線の選続領は去る七 赤機二千擊墜 專部

十萬噸を

聯機二千台を繋墜した

十九日酸素

を覚服して

測線整機部隊はビ

沈・艦船百五姿七萬ト 刑近で機能に基に直

0

おか

い程

食慾ら

體

流の老獪對策 第二戦線案に報酬要求



ラくり管内でかける装置にし食 学客験に、大の腹部にメスで孔。 場合、純粋培養さるイースト 但帯がアリアリ見られるが配し、消化力が極めて旺春

の関係なすべて利害可算を 坪上大使答解 日本 國を訪問した東條論指によって 泰國の地位更に强化 内面景の振興、國民致行の普及に を布告すると共に共発圏延設に適 急運に行は心理在北部なにおいる。 物能するや日本上 なば高橋大將は藍國の途次水環 は建國大學で跳頭を行ひ、 **東軍司令官兼金和大使,亦外** また國防の 元童は対佛 司の

られた・膨みれば寒圏が壁が六十の久しまに宣る宿園なこくに達成 家條約の締役によって変現し基礎 立國家の完成に全力を傾倒する歌「アン蘭相の最後する政治教育によて組上つた日本の複像的原度は数。本中國民教院の普及についてはじ

は要面的にな影画の國際的中立態 た後來外國と解語された反解との不可後陳初 たるの國際

昭和七年六月廿日の國民革命なら

。他らに日秦朝文とよる権利正文各三連にそれが、著名勝即を行った、終ってピグン当相は日

個人および美麗民の名において こごに日本版府および日本第に 、 高し裏心より感謝の意を表明す るものである

たことは愛國心に燃える是國

網搬して側印と紛争中であつた國一堂の近代的工變建設計劃と整複さ

非人道鬼畜の敵機 表明する。は着外的には魔術的中立主義すと「災災略の無誤難迫を振し、横ぶ上、職難に審理するところ殴めて、の意風「進進の機を強いた・撃國」「國民薬命成ってから修か八年、「自治自是歌歌等確立、その大東垂に出

のに對しては五パーツ以下の税金 楽園 各銀行は各盛業日の 最終預

を許可したが、今後は二夫一妻以 無徳局は、ドーバー海峽沿岸グ ネ岬のドイツ海岸砲圧隊が上 英艦艇群出現

の、驚屈群は煙茶を張って西方に配口を開いて一面で懸を深へたく

職級グルン循環堡の脳難同盟 タバン獨羅軍 マルカ

攻勢を展開した。すなはち赤軍は ビヤジマ西方なび多数の地區で新

事記者ハンメル大佐な東部戦級の 戦況につき十五日次の通り載じて

泥將軍來襲を警戒 赤軍、焦慮の攻勢續く

【バンコツク十九日間盟】十八日一案の三重要法案をそれぞれ可決し

八日にはミラス南沿岸およびイル 七七日イチコーム地屋で、また十

改像は擴大してラドガ湖南方 | 失敗に臨した、次いで赤軍は去る

りに、\*\*

お肌の爲に

ハビリオク

輝く六十機の偉家を達成し の建海軍へ夫々戦闘機三十 るに天津飛行機散納週動は

翼献納に日本一の記錄

整位生徒文も運動し無路區外西町

徽文中の兩君、土垣の下敷

【釜山】殿力増四の境部開保に率

朝取一般取引 祭城縣金甲

增産激勵行脚

大野慶南知事

勤勞に尊き犠牲

在天津邦人が熱誠の六十機

九日同盟在湖七

準では大東亜酸争労破と回 を持される確定である、天

が、時の敵物式は來る二十

原語観察期間中各級権に於ては夫一部を見せんとするとき今回の撤車

會場

京城府民館大講堂

師講

世界大戦争の現段階と最終段階

百能終を登録込んである

別が開催し

陸罪少路 金 子、定

Ħ

新日報報社 世

日時一八月廿二日(日)午後

眞に遺憾…藤井學務課長談

日程で電製的に増産目標達成の概 て朝幼工場へど西線戦士を波跳し 年前六時の植田工場を図切り

山(松炭油增產) 晋州时内(松 油增産)固城(乾旱堆贮增産) 灰油増産)▲廿日四川町(松炭

やかしながら、眼幕の諸次解を い、から順き文から配合を破

▲十九日伽鄉四(乾塘堆肥)那上

指導者の不注意

蛛尺

## 鐵則五つ-竣工式など廢止

動行事と一番へた療成、或ひは陽音運動大會 **て耐制、特にその意派目的を履き** 活費後の 道としてるきに 断題で決 行事なこれを極めるべしと、決威生 定、富麗及びその外の関係のかろい 直接成力地強に關係の新い國民運動

特に左の熊項目に歌笛さざるものは決徹に直接の腕係を有せざるものとして之が資源を認めざることへした。即ら 最短自給力の緊急弱化に費す

嚴に之を戒める

点々金の海中頭化に変する

い、更に右條件に該當する行事 保のないものとして電施を認めない行事は決議完務へ直接隔 卵化、物質資金の集中弾化など

> ろな行事を一階版重に統制する國策に呼順、總督所でも 廿日左の如く談話を発表した 名をもつて各道に亜米を發すると共に、常本情報課長は 『行事の決職態勢化』を押して、このほど石口職務局長

民事校一年の時から今日宝でコツ

**電信に削うたれて中島時代の貯金 巻げるには、先う領で権と、不済 を八月七五日とした活動のを低期を一目みんとして贈省、輝かしい」(、海へと碧き場を燃やして馳せ 對するボー学通信の特別傾す別間を一目みんとして贈省、輝かしい」(、海へと碧き場を燃やして馳せ 對するボー学通信の特別傾す別間を通りのではなるのでは多くります。** 

は一層みつらり歌まればと思ひまを見た中島の県従輩はこの二島期 さん(京畿商女四年)はこの

計貫の大鱶

怪物でその一匹には腹の中に目の

三十分しつが築粉末百五一円 デルモライツ

神經痛肩こり腰痛

後三國志

矢野橋村(緒) 吉川英治(作)

(製鋼台定は翻に長さ六尺、目方 の数であつたといなれてある

健民運動の入賞標語

『米英に蘇の他で開催り』『治召 | 不屈の衝刷を作らう、こいふ他の

は機能の一つ」

を ※出されるやう要望してある

五號地日本於十字社學佛教他奏

けふの市況(計画)

全鮮學園に色刷して配布

五銭の貯金通順を本社に客託した。鎌つて緩へて國の相」など便民選 しは近いを確はよいか」『この物』の成を理論するものである「ます 金紅の風図に配布

抑留邦人への通信

の確から概に劣らぬ立版な繊維が の確から概に劣らぬ立版な繊維が ら國防繊維

といぶことは悪心に堪へない、にまたもかくる事件が惹起した 経滅の繊維的発所でかねてか 的に戦災されてある進載の皮から 機の機関油深油を目的として全國 うに…・厳継不足の折棋魔防衛會

敗れ立すから捨ててしまはないや

朝な縁縁の生産に成功したので新 學則早久全國各中等學校、青年學 繊維を採ることに窓目、同電附題

三國高值更知 三國物金

と場 部の影響問

TXV. び皇恩 概念 

意 四、銓

林疾止

いめるなった郷の大権があ

1

京城明治町 1121

生産戦は増産だ増産だ 必勝への貯蓄 銃後の勉めだ 株式投資

明治明城京



してこの路戦域の前に立たせるがよい、機響くてたまりねといふ従機は一人残らず抗

。年十憤悲″ふ攫家書讀 く覗を館書圖府本の月七



驱 東東で最下以は極端統計の四

向から調けは

楷書下の府民 |門を賜し第三位は一郷足らずの正 製の競判課題な 炎夫のバスゆる で言がよの

中原 花屬

野村設券發京城支店

別元なかのため、一般自己 ョ 」 東京爆撃にある、アラスカが其際の基 地となるだらう わが艦上爆撃機の急上昇 本將 





株式會社 和 以 城 如 路 信

八月二十六日午後一時 新り)

山本源作商店 代表版語図五一九一指